



## 1. 理事会からのお知らせ

### (1) 代表理事挨拶

TCER フェローおよび関係者の皆様方には、日頃より TCER の活動にご支援とご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。昨年 6 月に TCER 代表理事に就きまして、業務総括理事（代表理事代理より改称）業務執行理事の坂井豊貴先生と会計・研究会担当業務執行理事の寺井公子先生を中心として理事の先生方とともに、TCER の一層の発展と TCER におけるより良い研究環境の構築のために TCER の活動を推進しております。しかしながら、昨年から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、TCER の活動も大きく制約を受けました。その結果、TCER の事業の状況は、現在、以下のようになっております。

第一に、NBER、CPER、TCER が共同で開催する TRIO コンファレンスについて、2019 年度は、” Financial System” をメインテーマとして 2019 年 7 月 27 日に東京大学で開催され、報告論文は国際学術誌 Journal of the Japanese and International Economies (JJIE) に刊行されました。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となりましたが、2021 年度は第 29 回目のコンファレンスを、「新型コロナウイルス感染症と世界経済」をテーマに開催予定です。

第二に、TCER コンファレンス（旧逗子コンファレンス）については、旧逗子コンファレンスの伝統を受け継ぎ、2 年計画で共同研究を行い、商業出版を行う事業を行います。2019 年度から、「金融の『大転換』と日本の金融システムの未来」というテーマでプロジェクトが始まりました。2020 年度はコロナ感染症の影響でプロジェクトをいったん中断しましたが、2021 年度秋より再開します。特にコロナ感染症が 2020 年度の企業の経営に与えた影響を、決算発表（特に金融機関・企業関係のデータ）を使って分析をすることを予定しています。

第三に、TCER=ERIA 出版事業では、ERIA（東アジア・アセアン経済研究センター）の委託を受け、木村福成慶應義塾大学教授と浦田秀次郎早稲田大学名誉教授が中心となって「東アジアの経済統合」と題する 10 冊シリーズの書籍を出版する事業を進めています。2016 年度から毎年度に 1 冊ずつ刊行されてきました。2020 年度に 4 冊目（第 3 巻「東アジアの経済統合：財・サービス・投資」）が刊行されました。2021 年度は 5 冊目（第 2 巻「アジア総合開発計画・物的インフラ整備」）を出版する予定です。

昨年一年間、世界は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックという文字通り 100 年に一度の危機に見舞われ、世界経済及び日本経済は、歴史的な危機に直面しました。昨年末から予想外に早くワクチンが開発され、米英イスラエルなどでワクチン接種が進むとともに、2021 年中にある程度の感染収束の可能性が展望できるまでになってきました。この間の世界各国及び我が国の危機対応については様々な見方があり、経済学研究者による研究も進展が待たれるところです。TCER は、経済学のアプローチから、今

回のパンデミックが世界経済及び日本経済に与える影響や、経済政策による対応の在り方、さらに、その他の経済的諸課題について研究を行い、その研究成果を知見として蓄積し、コロナ禍で惹起された問題の解決に貢献することをめざして、活動して参ります。皆様におかれましては、引き続き TCER の活動にご支援、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

小林慶一郎（代表理事・慶應義塾大学）

## （2）2020年度後半の理事会報告

2020年度第2回理事会は、2021年2月24日（水）13時00分～15時30分、東京経済研究センター事務所及びウェブ会議システム（ZOOM）において開催されました。令和3年度の事業計画書及び令和3年度の予算書が承認されました。寄附者が用途を特定していない寄附金について、公益目的事業に要する経費に充てる割合、令和3年度投資方針書についても承認されました。二十一世紀文化学術財団からの寄付金を2つの新規事業の積立金とすることも決議されました。評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について原案が提示され承認されました。

また、3名の新規フェローの入会も承認されました。最後に、報告事項として、2020年度の事業の執行状況について説明がありました。

## （3）2020年度後半の評議員会報告

2020年度第2回評議員会は、2021年3月18日（木）16時10分～17時00分、東京経済研究センター事務所及びウェブ会議システム（ZOOM）で開催されました。令和3年度の事業計画書及び令和3年度の予算書が承認されました。

## （4）所属先変更のご連絡のお願い

所属先が変更になった方は、お手数をおかけしますが、TCER事務局（tcer@mbs.sphere.ne.jp）までご連絡下さい。また、メールアドレスの変更を希望なさるフェローも同様に事務局までご連絡ください。

必要事項は、氏名（フリガナ）、所属先、所属先住所（郵便番号）、電話番号、メールアドレスとなります。

## （5）2021年度研究助成のお知らせ（フェロー以外も応募可能）

① TCERでは、新型コロナウイルス感染症／Covid-19が日本の経済社会に与えている影響に鑑み、「コロナ感染症と日本経済」に関する1回限りの、個人研究助成を行います。TCERは、2020年6月に解散した二十一世紀文化学術財団の残余財産を受け入れました。今回の助成の原資には、この新規資金の一部を充てる予定です。

研究助成実施の趣旨：2019年に発生し、2020年に入って世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症（国際正式名称：COVID-19）は、日本を含む世界の社会経済に甚大な影響を及ぼしており、これに対し内外の経済学研究者が分析を行うと共に、政策対応の提言を行っています。日本でも、スピード感を持った新型コロナウイルス感染症に関する分析とその発信に対する社会的関心が高いことに鑑み、本テーマに関する研究助成を緊急に行うことにしました。研究テーマの性質上、科研費等の他の研究費ですでに分析を始めているプロジェクトの不足分の費用への充当や、既に行ったアンケート調査の追跡調査の実施等への使用も許され、またむしろそのような支出を歓迎します。また、学術誌への出版を目指した質の高い研究論文の執筆だけでなく、研究途中の段階でも社会的に有用と判断された場合は、広く一般に研究成果を公開・発信することが期待されています。

応募資格：日本国内の大学および研究機関に所属する経済学研究者であれば、TCER フェローに限らずどなたでも応募することができます。

助成対象期間：2021年4月～2023年3月（2年間）

報告義務：2023年3月末までに所定の様式に従って研究成果報告書を提出するとともに、研究成果を東京経済研究センターワーキング・ペーパーとしてまとめてください。（なお研究成果の提出は2023年12月末まで延長できます。）これはRePEcのTCER リサーチペーパーシリーズにも入ることになります。また、TCERの関わるコンファレンス等での発表も期待されています。

助成金額：1件当たり最高300万円（総額最大1,000万円、3～10件程度を想定）

支出を認める項目：アンケート調査費用、データ購入費用、リサーチ・アシスタントの雇用、データ整理の外注など。

支出を認めない項目：旅費、会議費、PC等の物品や消耗品の購入。

応募締め切り：2021年5月7日（金）午前9時

応募先：TCER事務局Eメールアドレス（tcer@mbs.sphere.ne.jp）に提出してください。なお混乱を避けるため、応募の際のメール件名に必ず「コロナ感染症と日本経済」という文言を入れるようにしてください。

② TCERでは、毎年、個人研究助成を行っています。この研究助成制度は、TCERフェローを含む若手研究者の個人及び相互による経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することを目的としています。

応募資格：日本国内の大学および研究機関に所属する経済学研究者であれば、どなたでも応募することができます。ただし、同一テーマで過去3年以内に助成を受けた方（共同研究者である場合も含む）は応募できません。

助成対象期間：2021年4月～2022年3月

報告義務：2022年3月末までに所定の様式に従って研究成果報告書を提出するとともに、研究成果を東京経済研究センターワーキング・ペーパーとしてまとめていただきます。

す。これは RePEc の TCER リサーチペーパーシリーズにも入ることになります。(なお研究成果の提出は 2023 年 3 月末まで延長できます。)

助成金額：1 件当たり最高 40 万円

応募締め切り：2021 年 5 月 14 日(金)午前 9 時

応募用紙：応募用紙 (<https://www.tcer.or.jp/> からダウンロード可) に入力し、Word ファイルをメールに添付してください。

応募先：TCER 事務局 E メールアドレス (tcer@mbs.sphere.ne.jp) に提出してください。

## 2. コンファレンスご案内・報告

### 公1 国際的学術研究・交流事業

#### (1) ERIA 出版事業「アジアの経済統合：財・サービス・投資」出版報告

TCER=ERIA 出版事業では、ERIA (東アジア・アセアン経済研究センター) の委託を受け、「東アジアの経済統合」と題する 10 冊程度の本のシリーズを出版していく事業を行っています。2020 年 12 月に、第 3 巻の「アジアの経済統合：財・サービス・投資」が頸草書房により出版されました。

<https://www.keisoshobo.co.jp/book/b550779.html>

#### (2) TCER=TIFO フェローシップ

2021 年度分は募集中止が決まりました。

### 公2 学術研究交流促進事業

#### (1) ミクロ経済分析事業 (2020 年度 DC コンファレンスとの共同開催) 報告

第 26 回 DC コンファレンスは、2020 年 10 月 24 日 (土) に ZOOM を用いてオンラインにて行われました。コンファレンスの内容については、12 本の投稿論文報告と招待講演によって構成されています。投稿論文の報告は、(1) 10 時 00 分から 11 時 40 分、(2) 14 時 20 分から 16 時 00 分、(3) 16 時 20 分から 18 時 00 分、の 3 つの時間帯に分かれ、すべての時間帯で並行して二つのセッションが行われました。招待講演は、山下拓朗氏 (Toulouse School of Economics) による "Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters" という題目で、研究報告が 13 時 00 分から 14 時 00 分まで行われました。参加者数は約 60 名で、どの報告に対しても活発な議論が繰り広げられ、大変有意義なコンファレンスとなりました。プログラム委員は下記の先生方です。また、プログラムは次頁のとおりです。

プログラム委員：菊地 和也 (法政大学・オーガナイザー)、篠原 隆介 (法政大学・オーガナイザー)、関口 格 (京都大学)、十河 丈晴 (SKEMA Business School)、橋本 和彦 (大阪経済大学)、平井 俊行 (法政大学・オーガナイザー)、宮川 敏治 (甲南大学)、渡邊 直樹 (慶應義塾大学)

		座長: 三浦 慎太郎 (神奈川大学) Meeting Room A	座長: 村本 顕理 (大阪経済大学) Meeting Room B
10:00-10:50	Session 1	李 晨 (京都大学大学院) Obvious Belief-Free Pareto	今村 謙三 (Boston College) Meritocracy versus Diversity
10:50-11:40		岸下 大樹 (東京理科大学) Search and Knightian Uncertainty Revisited: Beyond Uncertainty-Aversion	橋立 洋祐 (早稲田大学/学術振興会) Image-Conscious Behavior and Cooperation Rates
11:40-13:00		昼休み (オンライン懇親会 11:55-12:55)	
13:00-14:00	招待講演	座長: 篠原 隆介 (法政大学) Meeting Room A	
		山下 拓朗 (Toulouse School of Economics) Robust Prediction in Games with Uncertain Parameters (joint with Shintaro Miura)	
14:00-14:20		休憩	
		座長: 渡邊 直樹 (慶應義塾大学) Meeting Room A	座長: 宮原 泰之 (神戸大学) Meeting Room B
14:20-15:10	Session 2	篠崎 弘毅 (大阪大学大学院) Manipulability of Efficient Allocation Rules on Rich Non-quasi-linear Domains	野津 隆臣 (京都大学) Repeated Games with Collateralized Borrowing
15:10-16:00		渡邊 直樹 (慶應義塾大学) An Experimental Study of VCG Mechanism for Multi-unit Auctions: Competing with Machine Bidders	難波 敏彦 (関西大学) The Effect of Gaming in Quota Contracts
16:00-16:20		休憩	
		座長: 関口 格 (京都大学) Meeting Room A	座長: 岸本 信 (千葉大学) Meeting Room B
16:20-17:10	Session 3	河原 健志 (東京大学大学院) The Chip Strategies Approximately Achieve Efficiency at the Optimal Rate	白川 亮 (東京大学大学院) Stable Coalition Structures of Patent Licensing Games
17:10-18:00		関口 格 (京都大学) A Folk Theorem for Infinitely Repeated Games with Equivalent Payoffs under Optional Monitoring	篠 潤之介 (早稲田大学) Shapley Mapping and its Axiomatization in n-Person Cooperative Interval Games
18:15-		オンライン懇親会	

## (2) マクロ経済分析事業 (2020年度 TCER マクロコンファレンス) 報告

第22回 TCER マクロコンファレンスが 2020年12月12、13日の2日間にわたり、オンライン開催され(主催は慶応大学)、多くの投稿論文から厳選された5本の論文が報告されました。研究テーマはそれぞれ、(1)消費増税に伴う耐久財消費の駆け込み需要とその後の需要落ち込みの理論分析、(2)新型コロナウイルスに対する知識・認知の違いがマクロ経済に及ぼす影響、(3)特別定額給付金の消費刺激効果、(4)質的・量的金融緩和政策が長期インフレ期待に及ぼした影響、(5)2010年代における賃金フィリップス曲線のフラット化と賃金マイクロデータに基づく下方硬直性の検証の5つでした。これらの研究発表を通じて、活発な議論が展開されました。プログラムは以下の通りです。

### 12月12日(土)

10:45 Zoom アクセス受付開始

11:00 開会の辞 渡辺努(東京大学)

第1セッション: 座長 渡辺努(東京大学)

11:10-12:20 日野将志(オハイオ州立大学)

“A Model of Anticipated Consumption Tax Changes”

討論者: 西山慎一(京都大学)

12:20-13:10 昼食とディスカッション

第2セッション: 座長: 敦賀貴之(大阪大学)

13:10-14:20 濱野正樹(早稲田大学)

“COVID-19 Misperception and Macroeconomy”

討論者: 石瀬寛和(大阪大学)

14:20 第1日目の総括

### 12月13日(日)

8:45 Zoom アクセス受付開始

第3セッション: 座長: 櫻川昌哉(慶應義塾大学)

9:00-10:10 久保田荘(早稲田大学)

“Consumption Responses to COVID-19 Payments: Evidence from a Natural Experiment and Bank Account Data”

討論者: 宇南山卓(京都大学)

10:30-11:40 相馬尚人(横浜国立大学)

“The Effects of QQE on Long-run Inflation Expectations in Japan”

討論者: 中園善行(内閣府 / 横浜市立大学)

11:40-12:30 昼食とディスカッション

第4セッション: 座長 植杉威一郎 (一橋大学)

12:30-13:40 平田渉(日本銀行)

“賃金版フィリップス曲線のフラット化と名目賃金の下方硬直性：2010年  
代の経験”

討論者：山本勲 (慶應義塾大学)

13:40 閉会の辞 櫻川昌哉 (慶應義塾大学)

**(3) 若手研究者育成支援事業 (ジュニア・ワークショップ)**

2020年度は開催しませんでした。2021年度も開催予定はありません。

**(4) TCER 定例研究会 (2020年度 TCER 研究会) 報告**

2020年度のTCER研究会は慶應義塾大学にて行われ、今年度後半の開催は以下の通り  
でした。なお、TCER定例研究会にはフェローの方はいつでも参加できます。

**ミクロ経済学ワークショップ**

2020年10月9日(金) 14:45~16:15

Jonathan Newton (京都大学)

“Learning and equilibrium in misspecified models” joint with Filippo Massari

2020年10月23日(金) 14:45~16:15

Youngwoo Koh (Hanyang University)

“Repeat Applications in College Admissions” joint with Yeon-Koo Che and Jinwoo  
Kim

2020年10月16日(金) 14:45~16:15

鎌田雄一郎 (UC Berkeley, Haas Business School)

“Flash Pass” joint with Zihao Zhou

2020年10月30日(金) 14:55~16:25

小島武仁 (Stanford University/東京大学)

“Weak Monotone Comparative Statics” joint with Yeon-Koo Che and Jinwoo Kim

2020年11月6日(金) 14:45~16:15

熊野太郎 (横浜国立大学)

“Quota Adjustment Process” joint with Morimitsu Kurino

2020年11月13日(金) 14:45~16:15

細矢祐誉 (中央大学)

“On the Uniqueness and Stability of the Equilibrium Price in Quasi-Linear  
Economies”

2020年11月20日(金) 14:55~16:25

石田潤一郎(大阪大学)

"Signaling under Double-Crossing Preferences" joint with Chia-Hui Chen and Wing Suen

2020年11月27日(金) 14:55~16:25

Alexandru Nichifor (University of Melbourne)

"Chain Stability in Trading Networks" joint with JW Hatfield, SD Kominers, M Ostrovsky and A Westkamp

2020年12月11日(金) 14:55~16:25

Toru Suzuki (University of Technology Sydney)

"Pragmatic Ambiguity and Rational Miscommunication"

### マクロ経済学ワークショップ

2020年10月13日(火) 16:30~18:00

Yongsung Chang (Seoul National University)

"Income Volatility and Portfolio Choices"

2020年10月27日(火) 16:30~18:00

山田知明(明治大学)

「金融政策と所得・消費のばらつき —日本のデータを用いた検証—」

2020年11月10日(火) 16:30~18:00

保里俊介(University of California, San Diego)

"Population Growth, Economic Growth, and Environmental Consequences"

2020年11月24日(火) 16:30~18:00

Iacopo Varotto (Queen Mary University of London)

"A New look at Competition Policy in an Economy with RD Externalities"

2020年12月22日(火) 16:30~18:00

平野智裕(Royal Holloway, University of London)

"The Wobbly Economy, Part II; Introducing land"

2021年1月5日(火) 16:00~17:00

上田晃三(早稲田大学)

"Duopolistic Competition and Monetary Policy"

2021年1月5日(火) 17:00~18:00

高橋悠太(一橋大学)

"Downward Nominal Wage Rigidity: Theory and Evidence from Japanese Cotton Spinning Industry during WWI"

**計量経済学ワークショップ**

2020年10月13日(火) 16:30~18:00

米倉頌人(千葉大学)

“Online Smoothing for Diffusion Processes Observed with Noise”

2020年10月27日(火) 16:30~18:00

加藤真大(サイバーエージェントAI Lab)

「効率的な平均処置効果推定のための適応的実験計画」

2020年11月3日(火) 16:30~18:00

岡達志(モナシュ大学)

“Heterogeneous Impact of the Minimum Wage: Implications for Changes in Between- and Within-Group Inequality”

2020年11月10日(火) 16:30~18:00

大前勝弘(国立循環器病研究センター)

「動的治療方針の推定問題について」

2020年11月17日(火) 16:30~18:00

前田高志ニコラス(理化学研究所AIPセンター(RIKEN AIP center))

「統計的因果探索の基本手法と近年の展開」

2020年11月24日(火) 16:30~18:00

宇佐美慧(東京大学)

「個人内変動に基づく縦断データ分析の展開」

2020年12月1日(火) 16:30~18:00

中村知繁(慶應義塾大学)

「ランダムフォレストによる因果推論」

2020年12月23日(水) 16:30~18:00

石原庸博(大阪経済大学)

「実現共分散を組み込んだ行列指数多変量確率的ボラティリティ変動モデルのベイズ推定: マーケット・サイズ・バリューファクターへの応用」

**応用経済学ワークショップ**

2020年10月2日(金) 16:30~18:00

宮川大介(一橋大学)

“Disagreement between Human and Machine Predictions”

2020年10月9日(金) 16:30~18:00

高橋泰城(北海道大学)

“Hayek’s Sensory Order, Gestalt Neuroeconomics, and Quantum Psychophysics”

2020年10月16日(金) 16:30~18:00

ホリオカ・チャールズ・ユウジ(神戸大学)

"Was the Expansion of Housing Credit in Japan Good or Bad?"

2020年10月23日(金) 16:30~18:00

原ひろみ(日本女子大学)

"Long-Term Effects of Coeducational Industrial Arts and Home Economics Classes" joint with Núria Rodríguez-Planas

2020年10月30日(金) 16:30~18:00

笹原彰(慶應義塾大学)

"The Impact of Global Warming on Rural-Urban Migrations: Evidence from Global Big Data" joint with Giovanni Peri

2020年11月6日(金) 16:30~18:00

亀井憲樹(Durham University)

"Free Riding and Workplace Democracy--Heterogeneous Task Preferences and Sorting"

2020年11月13日(金) 16:30~18:00

鎌田拓馬(大阪大学)

"Family Structures After Terrorism: A Quantitative Case Study of the Tokyo Subway Sarin Attack in 1995"

2020年11月20日(金) 16:30~18:00

清田耕造(慶應義塾大学)

"The Anatomy of a Global Network of Multinationals: The Case of Japan"

2020年11月27日(金) 16:30~18:00

若森直樹(東京大学)

"The Welfare Consequences of Free Entry in Vertical Relationships: The Case of the MRI Market" joint with Ken Onishi, Chiyo Hashimoto, Shun-ichiro Bessho

"Induced Physician-Induced Demand" joint with Kei Ikegami and Ken Onishi

2020年12月4日(金) 16:30~18:00

神林龍(一橋大学)

『マネジメントのあり方と長時間労働・賃金格差』 共著 亀田泰佑 川本琢磨 杉原茂 田中万理

2020年12月11日(金) 16:30~18:00

石川竜一郎(早稲田大学)

"Can Bubbles in Asset Markets be Explained by Heterogeneity of Beliefs?" joint with Eizo Akiyama, Yukihiro Funaki, Yaron Lahav and Charles N. Noussair

2020年12月18日(金) 16:30~18:00

遠山祐太(早稲田大学)

"Dynamic Incentives and Permit Market Equilibrium in Cap-and-Trade Regulation"

### 特別ワークショップ

開催しませんでした。

### 編集後記

春光うらかな季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。2020年度2号目のニュースレターをお送りいたします。お忙しい中、ご執筆下さった理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。来年度もTCERをどうぞよろしくお願いたします。

Newsletterに関するご意見やご感想は代表理事 小林慶一郎 keiichirokbys@gmail.com  
または総務理事 作道真理 sakudo@sk.tsukuba.ac.jp までご連絡下さい。

=====

公益財団法人 東京経済研究センター

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703号室

Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp